

令和3年度

東公民館事業報告

目 次

1. 令和3年度公民館事業報告	〈ページ〉
(1) 子育て親子支援	2 ~ 7
(2) 青少年体験チャレンジ活動	7 ~ 12
(3) 学びあい・人権・地域ふれあい	12 ~ 22
(4) 自主学習グループの育成援助	22 ~ 24
(5) 生涯学習奨励員活動支援	24 ~ 26
(6) 地域づくり推進事業の協力援助	26 ~ 27
(7) 情報提供事業	27 ~ 28
(8) 各種団体事業の協力援助	28 ~ 29
(9) 地元教育機関との地域連携事業の取り組み	29 ~ 30
(10) 公民館利用状況	31

1 令和3年度東公民館事業報告

(1) 子育て親子支援

すくすくおやこスクール「前期」

(1) ねらい

- ①親子でふれあうことにより、親子の絆を深める。
- ②乳幼児期の心身の発達を促すため、音楽を通じた情操教育を受ける機会を提供する。
- ③新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、親子ともに伸び伸びと体を動かすストレスを解消する。

(2) 概要

対象：第1回 東地区在住の0～2歳未満の子とその保護者 15組

第2回 東地区在住の2～3歳未満の子とその保護者 15組

広報：公民館報、チラシで募集

受講決定者：21組 44名

参加者：15組 32名

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	組数
1	7/5（月） 10:00～11:00	親子リトミック♪ （0～2歳未満の子）	実技	リトミック講師 飯塚 一美	11
2	7/12（月） 10:00～11:00	親子リトミック♪ （2～3歳未満の子）	実技	リトミック講師 飯塚 一美	4

(4) 評価と反省

昨年度も好評であった親子リトミックを、今年度は講師の提案により年齢を分けて2回講座で実施した。年齢を分けることにより講座内容を充実させることができ、参加者の満足度も高かった。健康状態確認シートの提出、消毒等感染症対策を実施することで、参加者も安心して講座に参加できたようであった。

第1回は乳児向けの内容なので難しい動きはしないが、先生のピアノの伴奏に合わせてリズムを取ったり、保護者が抱っこして動いたり、手遊びをしたりした。子どもたちも反応している様子が見られ、楽しく親子でリトミックをしていただいた。

第2回は子ども自身が歌ったり動いたりしゃべったり、子ども自身が積極的に講座に参加できる内容であった。アンケートの満足度も非常に高かったので、次年度も本講座を開催していきたい。



親子リトミック

上川淵・下川淵・東 三館合同ベビープログラム

(1) ねらい

- ①親が安心して子どもを連れて学習ができる場を提供する。
- ②相談し合うことのできる仲間づくりを図る。
- ③親子のふれあいを深める。
- ④家庭の教育力向上のための一助とする。

(2) 概要

対象：第一子（令和3年2月26日～令和3年6月25日生まれ）を育てている母親とその子 10組

広報：公民館報、市ホームページ、チラシで募集

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師	組数
1	8/25 (水) 10:00～12:00	新しい出会い ・お互いを知り合う ・お互いの関心事を知る ・他のママの育児から学ぶ	グループ ワーク	前橋市子育て 支援課職員 BPファシリ テーター	中止
2	9/1 (水) 10:00～12:00	赤ちゃんのいる生活と環境 ・大人だけの生活と赤ちゃんのいる生活 ・赤ちゃんの生活リズム ・赤ちゃんに必要な環境を整える ・育児から学ぶ			中止
3	9/8 (水) 10:00～12:00	赤ちゃんの遊びと心の発達 ・「泣く」ことの意味 ・遊びと心の発達 ・0歳時期の心の発達の大切さを知る			中止
4	9/15 (水) 10:00～12:00	親になること ・はじめから一人前の親はいない ・パートナーや周囲の人の力を借りる ・自分も赤ちゃんも家族も大切 ・育児から学ぶ			中止

(4) 評価と反省

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催は中止となった。

子育て支援講座

(1) ねらい

- ①子育て支援において必要な知識及び技術の習得。
- ②地域における子育て支援の実践活動の充実を図る。

(2) 概要

対象：保健推進員及び民生委員、主任児童委員

広報：保健推進員会及び民生委員児童委員協議会の定例会で周知募集

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	組数
1	8/25（水） 14:30～15:30	子どものケガ・病気、身近に潜む危険とその防止	講義	群馬医療福祉大学 教授 西山 智春	中止
2	9/1（水） 14:30～15:30	子どものいいね！が見えてくる	講義	幼児教育アドバイザー 渡邊 俊	中止

(4) 評価と反省

8月20日から9月12日まで群馬県が緊急事態宣言の実施地域となったことから、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため講座を中止した。

すくすくおやこスクール「中期」

(1) ねらい

- ①親子でふれあうことにより、親子の絆を深める。
- ②参加者同士が交流する時間を作り、保護者がリフレッシュする機会を設ける。
- ③子どもの成長に合わせた親の関わり方を学習し、保護者の教育力を高める。

(2) 概要

対象：東地区在住の未就園児（0～3歳）とその保護者 15組

広報：公民館報、チラシで募集

受講決定者：15組 30名

参加者：12組 24名

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	組数
1	10/4（月） 10:00～12:00	手形足形アートづくりとふれあい遊び！	実技	Petapeta-art アドバイザー 坂本 ゆきえ	中止
2	10/11（月） 10:00～11:30	きらきら笑顔で親子遊び♪	実技	子育て支援課 こども発達支援センター	12組

(4) 評価と反省

第1回は群馬県の警戒度4が10月7日まで延長となったため中止した。

多数の応募（定員15組、応募26組）があり、抽選で選ばれた方々の参加で、歌を歌いながらの手遊び、ふれあい遊びや運動遊び、最後の絵本の読み聞かせまで笑顔の絶えない楽しい講座開催となった。

手作りおもちゃの反響も大きく保護者の皆さんが家庭で作成してみたいと熱心に観察していた。保護者の自己紹介を兼ねた「遊びに行く場所」「離乳食の工夫」を話す時間は情報共有の場となり、日々の悩みを少し発散できたようだった。0歳の親子で一部参加できない遊びのコーナーがあったので今後工夫して実施したい。

中止となってしまった第1回手形足形アートづくりとふれあい遊びは開催希望意見が多かったので再度講座開催を計画したい。



きらきら笑顔で親子遊び

すくすくおやこスクール「後期」

(1) ねらい

- ①保護者の保育力を高めるため、親子のふれあい方や遊び方について学ぶ。
- ②親子でふれあうことにより、親子の絆を深める。
- ③本事業は東公民館と昌賢学園群馬医療福祉大学が連携して実施し、きめ細かな家庭教育の支援とその効果を一層高めることを目指す。

(2) 概要

対象：東地区在住の未就園児（0～3歳）とその保護者 15組

広報：公民館報、市ホームページ、チラシで募集

受講決定者：15組 32名

参加者：延べ人数 23組 49名

(3) 内容

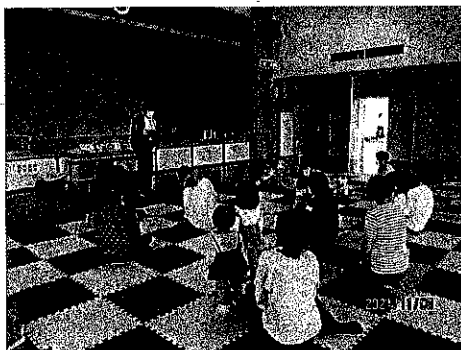
回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	組数
1	11/8（月） 10:00～11:30	親子でふれあい遊びと絵本♪	実技	群馬医療福祉大学 准教授 田中 輝幸	12組
2	11/17（水） 10:00～11:30	親子で楽しむ運動あそび！	実技	群馬医療福祉大学 准教授 田中 輝幸	11組

(4) 評価と反省

非常に人気のある講師であったため、申込者が多く抽選となった。月齢が1歳未満の方が半数近く参加されたが、親子の集中力が途切れることなく講師の読み聞かせや歌に興味深く聞き入っていた。ふれあい遊びでは軽妙な講師のギター演奏、CDに合わせて親子でふれあいを楽しんでいた。

今回演奏して下さったギタレレ（ギターとウクレレを合体させたミニギター）は初めて音色を聞かれた方が多くフリータイムには子どもと楽器を奏でる様子が見られた。

0～3歳までの募集でしたが、年齢差がややあるため参加者全体が楽しめるよう更に工夫し今後の企画をしたい。



親子でふれあい遊びと絵本♪



親子で楽しむ運動あそび！

すくすくおやこスクール「パパ・ママ講座」

(1) ねらい

- ①夫婦で講座に参加し、子育てについて学ぶことで夫婦の絆を深め、相互理解を促す。
- ②父親と子どものふれあい遊びを通して、親子の絆を深める。
- ③母親の育児に関する不安やストレスの解消を図る。

(2) 概要

対象：東地区在住の未就園児（0～3歳）とその保護者（父母） 15組

広報：公民館報、市ホームページ、チラシで募集

受講決定者：9組 27名

参加者：7組 21名（父親7名 母親7名 子ども7名）

(3) 内容

月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）
11/28（日） 10:00～11:00	パパ・ママ講座 ～パパとお子さんはリズム遊 び♪ママはほめトレ！～	実技 講義	群馬医療福祉大学 准教授 田中 輝幸 前橋市子育て支援課 課長補佐 千葉 正志

(4) 評価と反省

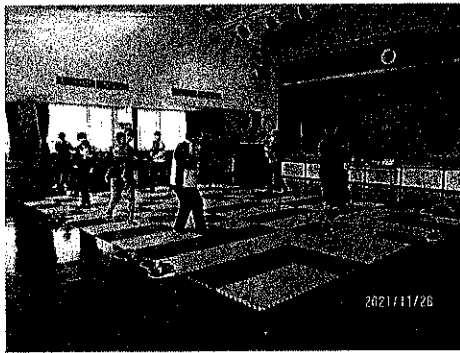
夫婦で一緒に講座に参加し、親子の関係性だけでなく夫婦の絆を深め相互理解を促すための本講座を昨年度に続き開催した。

父親と子ども向けの講座では、本を紹介しながらの読み聞かせとリズム遊びを

ダイナミックな動きで楽しみ、母親向けの講座「ほめて育てるコミュニケーショントレーニング（ほめトレ!）」はすぐに実践して役立てられる内容を講義形式で実施した。

父親、母親それぞれが学んだ内容をお互いに伝えてコミュニケーションする機会にもなり、参加者に満足していただける企画となった。

来年度も座学形式の講義と、実技や意見交換の場を設けた受講者参加形式をバランス良く組み入れた講座を企画したい。



父親と子「リズム遊び♪」



母親「ほめトレ!」

(2) 青少年体験・チャレンジ活動

夏休みチャレンジ教室

(1) ねらい

- ①小学生児童を対象として、地元学生の協力のもと夏休み中の課題学習の場を提供し、苦手課題の克服の仕方を習い、自らの感性を養う。
- ②教室を通して学校、学年そして世代間の枠を超えた協調と礼儀を養うことを目的とする。
- ③今回の講座「夏休みのドリル・宿題を仕上げよう」については、群馬医療福祉大の学生企画によるもので、講師役の学生達も、企画力、指導力等、学ぶことが多く、ボランティアを通じて地域子供達との世代間交流も深める。

(2) 対象等

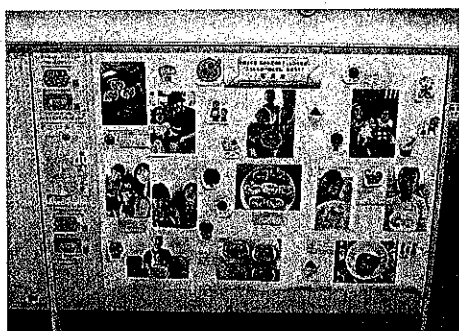
対象：東地区内の小学生児童を対象とする。

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	8/10(火) 9:00~11:30	夏休みの宿題手助け教室 「絵画」第1回(定員20名)	実習	群馬医療福祉大学生 大学職員(講師)	中止
2	8/10(火) 13:00~15:30	夏休みの宿題手助け教室 「絵画」第2回(定員20名)	実習	群馬医療福祉大学生 大学職員(講師)	中止
3	8/12(木) 9:00~11:30	「夏休みのドリル・宿題を 仕上げよう」(定員20名)	実習	群馬医療福祉大学生 大学職員(講師)	中止

4	8/13 (金) 9:00~11:30	夏休みの宿題手助け教室 「読書感想文」低学年 (定員20名)	実習	群馬医療福祉大学生 大学職員 (講師)	中止
5	8/13 (金) 13:00~15:30	夏休みの宿題手助け教室 「読書感想文」高学年 (定員20名)	実習	群馬医療福祉大学生 大学職員 (講師)	中止
6	8/14 (土) 10:00~11:30	「寺子屋スロー数学」 (定員15組30名)	実習	地域指導者 講師 斎藤 斉	中止
7	8/10 (火) ~ 10/31 (日)	「ころとん飾り巻きずし」 を作ろう! 写真展示	家庭 実習	東公民館主催	12 作品

(4) 評価と反省



展示の様子



作品の一部

昨年度から始めた「夏休み宿題手助け教室」であり、本年度は学生企画の子供達の宿題等を見る「夏休みのドリル・宿題を仕上げよう」を加え、子供達をフォローする万全な講座を用意した。また、「寺子屋スロー数学」については、当地域に高校数学の教師がおり、小学生でもわかる「素数」の世界を紹介する予定していた。残念ながら群馬県の警戒度が4となり中止する事となった。次年度コロナが落ち着いていたら、実施したい講座である。

唯一出来た講座が「ころとん飾り巻きずし」を家庭で作り、写真を公民館に展示する企画であった。令和2年度に公民館職員が作った巻き寿司を作る動画の出来栄が大変良かったので、コロナ禍で外出が難しい中、この動画を見ながら家庭で出来ることを企画した。作品数こそ少なかったがその家庭それぞれの巻き寿司が出来上がり、すべてA4サイズで印刷し、展示した。予定では10日間程の展示期間であったが、公民館使用者も少なかったため、期間を延ばし、10月一杯展示した。初めての試みもあり、観覧した方からは、「面白い企画だね」「ころとんが可愛いね」等、声を掛けられた。巻き寿司の作り方レシピが欲しいとの問い合わせも受けた。

「寺子屋スロー数学」

(1) ねらい

- ①小学校5、6年生に向けて中学、高校で習う分野を分かりやすく教え、小学生では体験出来ない数字の世界を紹介することで、算数好きな子供

達になお一層の興味、向上心を持たせる。

- ②ご家族での参加なので、保護者の方に子供達の探求心、追究心を一緒に感じてもらう。また、子供達の粘り強い心の成長を養い、今後の学習の一助とする。

(2) 対象等

対象：東地区内の小学生5年生、6年生とその保護者

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	10/30(土) 10:00~11:30	「寺子屋スロー数学」 (定員15組30名)	実習	地域指導者 講師 斎藤 斉	9組 19名



講座の様子



講座の様子

(4) 評価と反省

夏休み中に実施予定だった講座を延期してこの時期に実施した。

「素数」について小学生でもわかり易く、世界中で起きているエピソード(素数周期のセミ大発生、メジャーリーグ選手、プロサッカー選手の背番号など)を加え、子供達が興味を持つ話をされていた。計算機持参であったため、計算をさせたり、考えさせたり。また、学校の話も挟み、これから児童達が進学する、中学校、高等学校そして将来の為に何事にも取り組む重要性を話され、締めくくった。保護者の方で数学に興味のあった方もいて、講座後も講師と話していて、なかなか途切れなかった。

参加者で耳が不自由な方がいたので、手話通訳者を2名派遣依頼した。

新型コロナウイルス感染拡大予防のため、会議室でなく、ホールで行ったが、参加者等考えると会議室の方が良かったと思った。

冬休みチャレンジ教室(キッズエンジニア教室)

(1) ねらい

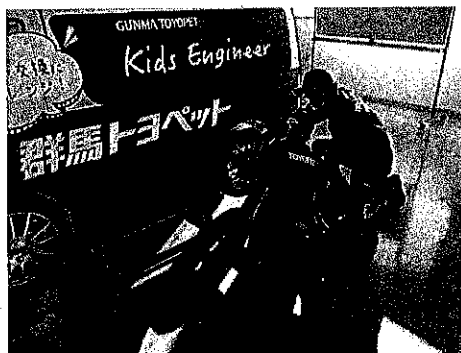
- ①楽しみながら職業体験を行い、将来について考えるきっかけづくり。
- ②学校や学年の枠を超えた仲間づくりを進めるとともにコミュニケーション能力を向上させる。
- ③さまざまな体験を通して、興味や関心の幅を広げる。

(2) 対象等

対象：東地区内の小学生の親子 20組40名

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	1/8(土) 9:30~11:30	キッズエンジニア体験 ①タイヤ交換 ②クラフトカー作り ③実車体験	実技	講師 群馬トヨペット株式会社	13組 25名



タイヤ交換の様子



実車体験の様子

(4) 評価と反省

他公民館で数回行われていた出前講座であり、昨年度実施予定していたがコロナで中止した講座であった。今回は希望者が多く、抽選となった為それを想定していたが、周知が上手くいかず参加者は13組25名であった。

子供達は社名が入ったツナギに身を包み、嬉しそうであった。①タイヤ交換、②クラフトカー作り、③実車体験の3班に分かれてローテーションにて指導を受けた。

指導の仕方も非常に上手く、子供達にも丁寧に説明していた。今回いらした方々は皆さん整備士の資格の他に指導者資格を持っているとのことであった。天候にも恵まれ、外での車の構造等の説明は大人が聞いても面白かった。この日は他の公民館利用者も複数いた関係で駐車スペースが足りなくなってしまった。講座のときは部屋利用調整も必要であると感じた。

冬休みチャレンジ教室(将棋教室)

(1) ねらい

- ①小学生児童を対象として、学校教育課程とは異なる学習環境の中で、伝統的なゲームを学ぶ。
- ②これらを通して学校、学年そして世代間の枠を超えた協調と礼儀を養うことを目的とする。

(2) 対象等

対象：主に東地区の小学生児童を対象とする。

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	1/15(土) 10:00~12:00	「将棋教室」 (定員30名)	実習	日本将棋連盟 講師 田村 盛好 講師 坂部 光夫 群馬医療福祉大学生 4名	19



講座の様子



指導の様子

(4) 評価と反省

昨年はコロナで中止となった人気の教室「将棋教室」。当日欠席が4人いたが、この冬も一番参加者が多い教室となった。当日は対戦テーブルの間隔を空けて、手指消毒、会話時は小声、斜めに座る等、随時アナウンスをしながら進めた。また今回は1年生が9人居て殆んどが初心者であった。大学生ボランティアをお願いしておいて本当に良かったと痛感した。ただ、今回のボランティアは将棋経験者を依頼しておいたが、実際は皆さん、ほぼ初心者であった。講師は会場内を回り、指導しつつ、検定希望者と対戦した。今回は4人の参加者が認定を受けた。5級認定の参加者が出たことで講師も驚いていた。

例年より参加者が少なく、大学生ボランティアがいたことで、指導が行き届き、飽きてしまう参加者は居なかった。時間も定時で終了し、有意義な教室であったと感じた。今回、初めてボランティア学生に「ボランティア活動証明書」を発行した。

冬休みチャレンジ教室(竹ひごビニール凧作り教室)

(1) ねらい

- ①小学生児童を対象として、学校教育課程とは異なる学習環境の中で、創作実習や伝統的な遊びを学ぶ。
- ②これらを通して学校、学年そして世代間の枠を超えた協調と礼儀を養うことを目的とする。

(2) 対象等

対象：主に東地区の小学生児童を対象とする。

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	1/22 (土) 10:00~11:30	「竹ひごビニール 凧作り教室」 (定員30名)	実習	地域指導者 講師 利根川 博	中止

(4) 評価と反省

昨年と同様で、新しく企画したが、新型コロナウイルスの感染が拡大していることから中止を決めた。今後、時期を変えて実施しても良いかと考えている。

冬休みチャレンジ教室(ブーメラン教室)

(1) ねらい

- ①小学生児童を対象として、学校教育課程とは異なる学習環境の中で、創作実習や伝統的な遊びを学ぶ。
- ②これらを通して学校、学年そして世代間の枠を超えた協調と礼儀を養うことを目的とする。

(2) 対象等

対象：東地区の小学生児童を対象とする。

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	1/29 (土) 10:00~11:30	「ブーメラン教室」 (定員30名)	紙上 講座	地域指導者 講師 岩上 良吉	17

(4) 評価と反省

1月21日に群馬県に、「まん延防止措置」が適用され公民館行事が出来なくなったため、中止となった。この教室は講師の岩上氏が公民館に売り込みにきた講座で、初めてもあり参加希望も多く子供達も楽しみにしていた。

教室を開けないので、講師と相談し、「ブーメラン作成マニュアル」を作成し、参加者に渡し、紙上講座とした。

(3) 学びあい・人権・地域ふれあい

新前橋駅100周年に係る記念事業「パネル展及び館報への記事掲載」

(1) ねらい

東地区にある新前橋駅が開設100周年を迎えるにあたり、その100年間に係る地域住民から募集した写真や資料の展示と、館報への記事掲載を行い東地区の歴史を周知するとともに、新前橋駅を開設した当時の苦勞を知ってもらい郷土愛を育てる。

(2) 対象等

対象：東地区住民、公民館来館者

周知：公民館報、フェイスブック

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者 (敬称略)	人数
1	7/1 (木) ~ 7/30 (金)	新前橋駅100周年に係る写真や資料の展示と「新前橋駅誕生物語」の館報への掲載	展示・掲載	館報編集委員会 中川春雄/東地区地域づくり協議会/展示物は地区内より募集	187※

(4) 評価と反省

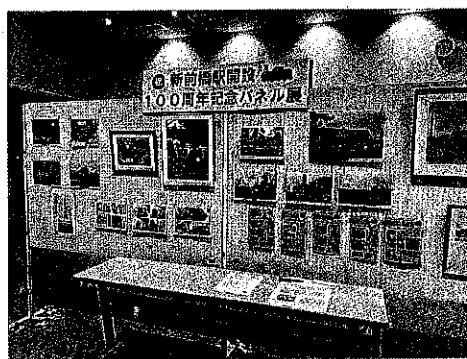
当初は、写真や資料がどの程度集まるのか不安なところがあったが、館報の募集と口コミで予想より多くの展示をすることができた。

また、反響も多く上毛新聞 (7/2 掲載) や読売新聞からの取材や、市議 (吉田氏) の地域紙への紹介記事も掲載された。アンケート回答者 (※) だけでも187名となり、パネル展横に設置した来館者記入用のメッセージボードやアンケートの回答には、昔の色々な思い出が詳しく書かれており、当時を知る人達には昔を思いだし、知らない人達には東地区を知る良い機会になったと思われる。

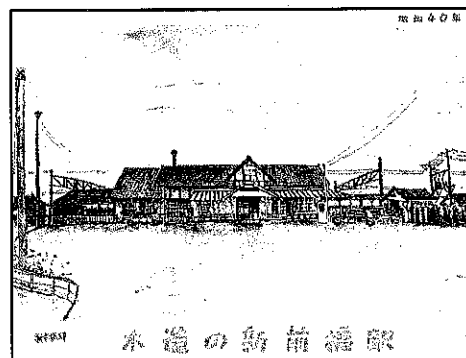
また、地区住民より募集した展示物のうち木造の新前橋駅の絵画と写真をポストカードにし、「100周年記念オリジナルポストカード2枚組」を来場しアンケートへ記入してくれた方へ100周年の記念品として配布した。

パネル展の他、館報7月号に館報編集委員会長の中川春雄氏に寄稿いただいた「新前橋駅誕生物語」前編・後編を連載し、前橋市が政府に何度も陳情活動を行ったことにより新前橋駅が開設されたことなどを周知した。

東地区を知り、愛着を持つことの一端となるイベントになったと思われるので、今後も東地区の歴史を地区の方々に広められるようなイベントを行ってきたい。



パネル展 (厳選した35点を展示)



記念ポストカード「木造の新前橋駅」

「zoomでヨガしよう！」講座

(1) ねらい

- ① コロナ禍で、皆で集まった講座ができない中、心身のリフレッシュや運動

不足解消を目指し、密の危険のないZOOMにてヨガを行う。

②ZOOMに対応できる世代向けの講座のため、参加しやすい休日に行う。

(2) 対象等

対象：前橋市内在住者（zoomのため人数制限無し）

(3) 内容（★はZoom開催）

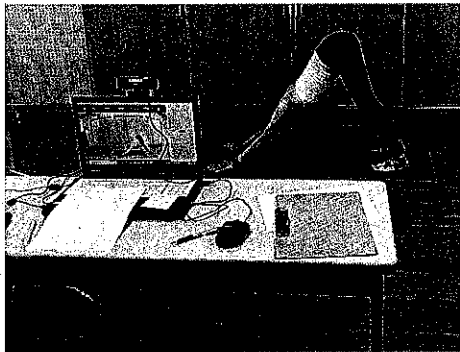
回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1 ★	7/11（日） 10：00～11：00	コロナ禍のリフレッシュ。休日の朝にZoomでヨガを受講	Zoom	ヨガインストラクター 黒沢知明	31

(4) 評価と反省

講師は鍼灸師として、普段より治療院の患者向けにヨガ講座を開催しているため、説明もとても分かりやすく、リフレッシュだけでなく健康を目指したヨガとなった。

参加者からのアンケートには、比較的高齢の方からは「動きが難しかった」や「zoomが上手く行かないところがあった」との声があり、50歳代以下からは「休日に開催してもらえて嬉しい」「周りの目を気にせず、先生の動きも間近で見ることができて集まる教室より良かった」との声が多かった。

申込時はHPのフォームからとしたため、通常の講座開催時の電話や窓口での申込受付、参加者への案内郵送が不要となり、zoom開催としたため広い会場の確保、当日の駐車場確保、参加者の感染対策や会場の消毒などの手間が全て無かったことは開催側としても大きな利点であった。なお、全年齢を通して今後もzoom配信での講座開催を希望する声が多かったため次回開催を検討したい。



担当者はパソコンで全体を確認



講師は自身をタブレットで確認

かんたん初めてのスマホ教室

(1) ねらい

- ①情報収集・伝達の手段として普及したスマートフォンについて、基礎的な使い方を学習する機会とし、実生活に役立てるきっかけとする。
- ②参加者が実際に端末に触れ、操作をしてみるにより、苦手意識克服の一助とする。

③防災・防犯など有事の際の自己防衛手段として、活用できるようにする。

(2) 概要

対象：東地区在住の方 各日20名

広報：館報、市フェイスブック及びHPへ掲載

会場：東公民館第2・3会議室

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	8/2(月) 14:00~15:50	初心者向けスマートフォン講座	講義 実習	ドコモショップ新前橋店 鰐渕 くるみ氏 他4名	19
2	8/3(火) 10:00~12:00	初心者向けスマートフォン講座	講義 実習	ドコモショップ新前橋店 鰐渕 くるみ氏 他2名	19

(4) 評価と反省

講師の人柄も朗らかで、ほめて伸ばすタイプで終始和やかな雰囲気で行われていた。

店長代行の諸岡氏を含めたアシスタントの協力を得て、実際の操作でサポート脱落する者も無く、円滑に講座は進行した。「前橋市の天気」の音声入力、マップから周辺の写真、外カメラから内カメラの切り替えは会場がどよめき、スマホの便利さ・楽しさを触れることができた。

カメラの使い方では、「周りへの配慮」「撮影禁止の確認」「著作権の侵害」「他の人を撮影するときの許可」と注意事項を強調していて、配慮されていると思った。

アンケートにあるように「ライン」の要望もあり、さらに高度なスマホ教室の必要性も感じた。

参加申込みについては、希望者が合計で72人いて人気の高さを感じ、希望にそえなかった方に今年12月に同様の講座を開催することをお知らせしました。

パソコン講座(Word編)

(1) ねらい

①Wordを利用した情報誌のレイアウトや編集などの作成を学ぶ。

②地域の情報発信に役立てるため、学社連携する。

③受講者の今後の生活に役立てる。

(2) 対象等

対象：東地区在住の18歳以上でパソコンの文字入力操作ができる10名

周知方法：公民館報、市ホームページに掲載

会場：中央情報経理専門学校

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	9/7 (火) 10:00~12:00	Wordを利用してオリジナルの情報誌を作成しよう ・既存データを開く ・文字列の方向を変更する ・用紙の向きを変更する ・段組みの設定 ・文字配列の変更 ・タイトルの挿入 ・図形の中の文字を縦書きにする ・見出しの作成 ・図形の色塗りと線の色を変更する ・グループ化 ・位置の設定 ・写真の挿入 ・小見出しの挿入 ・テキストボックスの挿入 ・編集後記の入力	実習	中央情報経理専門学校 神宮 久香 先生 同校学生 (学生は各日5名ずつ)	中止
2	9/14 (火) 10:00~12:00				
3	9/21 (火) 10:00~12:00				
4	9/28 (火) 10:00~12:00				

(4) 評価と反省

東地区にある中央情報経理専門学校の協力を得て、同校の先生・学生を講師・助手に依頼し、同校を会場に全4回のパソコン講座を実施する予定だった。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため急遽中止となり、受講者の募集を途中で打ち切った。定員10名のところ既に26名の申し込みがあり関心の高さがうかがえたが、学校の長期休暇を利用しての開催のため、講師や会場の都合上延期は見込めないため中止とした。

相続のきほんのきほん講座

(1) ねらい

- ①法改正により相続への関心が高まっていることを機に、改正点を含む相続法の基礎知識を学ぶ場を設ける。
- ②相続に関する理解を深めることで、相続に自己の思いを反映させたり、相続トラブルを未然に防いだりするきっかけとなることに加えて、親族など相続人とのコミュニケーションが図られるきっかけとなることを期する。
- ③参加者の漠然とした不安を解消し、前向きに充実した生活を送ることができる活力を生み出す。

(2) 概要

対象：東地区在住の方50名

広報：館報、市フェイスブック及びHPへ掲載

会場：東公民館ホール

(3) 内容

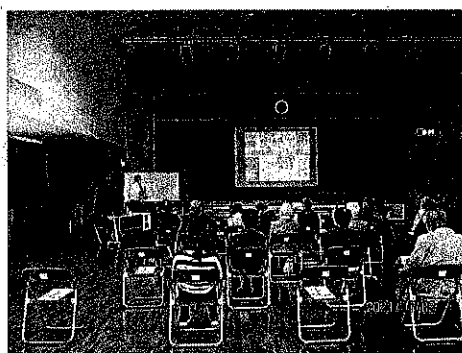
回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	11/2 (火) 9:30~11:40	<ul style="list-style-type: none"> ・相続に関する基礎知識 ・相続法改正のポイント ・節税のコツ など 	講義	東和銀行経済研究所 代理 森脇 泰介 氏	23

(4) 評価と反省

実施予定相続問題という内容が難しいテーマであるが、「よかった」以上が72.7%、「普通」を含めると90.9%、「満足度」74.5%と理解度の高さに驚かされた。講義の途中で質問事項もあり、関心の高さもうかがわれ、今後の講座の参考になった。

高齢者が多いので耳の不自由な方へのマイクのボリュームへの配慮が足りないこと、参加人数が少ないことを考慮して机の用意を怠ってしまったことを反省している。

個人的に相続人が配偶者のみの場合は、故人の兄弟も関係し、遺言についても知らないことがあり、おもしろかった。



真剣に聞く参加者

「東地区えがおプロジェクト」～東地区の笑顔を集めよう～

(1) ねらい

- ①長引くコロナ禍での生活で不安を感じたり不自由な生活を送っている方々にも笑顔になってもらうために、個人、家族等の写真を募集する。
- ②笑顔は心身の健康にも繋がるため、写真を公民館に展示し地区内外の来館者に見ていただくことで、笑顔で温かい地区運営の一助とするとともに家族や地域への愛着を深めてもらう。
- ③本事業は群馬医療福祉大学学生による企画事業を共同主催として実施する。SDGs (3:すべての人に健康と福祉を、11:住み続けられるまちづくりを) を目標に掲げている。

(2) 対象等

対象：主に東地区に在住または在勤・在学の方

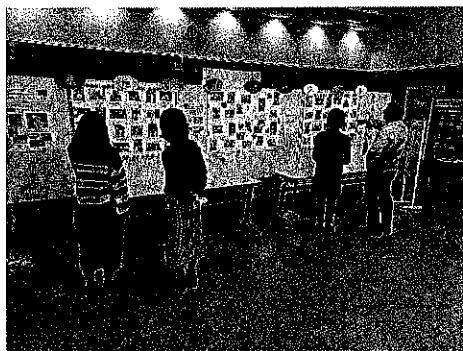
(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者 (敬称略)	人数
1	1/11 (火) より 1/31 (月) まで 展示	「東地区えがおプロジェクト」～東地区の笑顔を集めよう～	観覧	群馬医療福祉大学学生、公民館職員	来館者数未確認

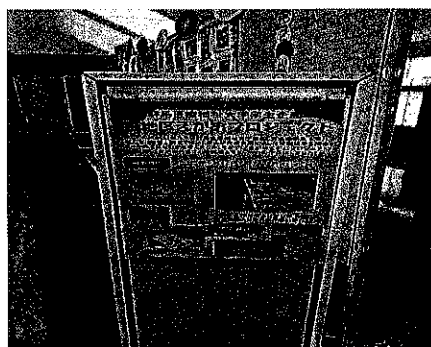
(4) 評価と反省

群馬医療福祉大学学生の持ち込み企画である。以前から学校側に公民館事業のボランティアをお願いしていたが、学校側より学生企画でやらせて欲しいとの要望があり、実現した。作品募集にあたっては、公民館報、区内内町回覧、公民館での掲示を行ったが、作品数が伸びず、学生自ら地区内小学校に赴きチラシ配りをした。公民館職員は公民館利用者団体に声をかけ、「笑顔の写真」を撮らせていただいた。70点位の作品が集まり公民館展示に漕ぎつけた。

展示が始まるにあたり、応募者には学校側からメールにて案内をした。公民館利用者も足を止めて見ていただいている。コロナの感染拡大で公民館利用が禁止になり、観覧者が減ることが懸念される。



観覧の様子



イベント看板

「給与所得者と税」の講座

(1) ねらい

- ①給与所得者と対象を限定することで、講座の内容を対象者に向けたものとするができる。また、税制の一つであり大きな関心があるがよく分からないと言われるふるさと納税などの関心事項を周知する。
- ②午後7時からの開催とすることで、会社勤めの方も参加できる講座とする。
- ③各自が自分の課税額の算定方法などを学び、今後の生活に役立てることを目指す。

(2) 対象等

対象：前橋市内在住または市内在勤者 40名

周知：公民館報、フェイスブック、市ホームページ、地区情報サイト「あずまある」への掲載

(3) 内容 (★は zoom 開催)

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者 (敬称略)	人数
1 ★	2/9 (水) 19:00~20:30	「給与所得者と税」の講座	講義	講師：前橋税務署 税務広報公聴官	20



画面に向かって講話をする講師

(4) 評価と反省

①募集時は、「対面方式の講座だが感染状況によっては zoom 開催」と案内し、結果 zoom での開催となった。よって申込は 32 名であったが、zoom の場合は不参加や当日欠席の方もいたため、実際の参加者は 20 名であった。

内容は、給与所得者（会社員）に特化したもので年末調整、確定申告、配偶者控除、医療保除、ふるさと納税など一般的に興味があると思われる内容であった。アンケート結果は、zoom 開催だったが、テンポも良く丁寧に説明してくれたと好評な意見が多かった。

また Zoom で 19 時からの開催だったため、平日昼間の講座に参加できない勤労世代に多く参加してもらうことができた。

大人のためのおはなし会

(1) ねらい

- ①絵本などに触れる機会のない人にも、その良さを知ってもらうきっかけとする。
- ②自分で読むのとはちがう聞く楽しさを味わう。聞くことで気づくおはなしの魅力や豊かな世界を楽しむ。
- ③コロナ禍や忙しい日常生活の中で、おはなしや音楽により心穏やかに笑顔になれるひとときを過ごす。

(2) 対象等

対象：18 歳以上の方 20 名

周知方法：公民館報、チラシ、ホームページ

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	3/4(金) 10:30~11:30	読み聞かせや朗読 (絵本、紙芝居、詩など) 音楽(ガムランの演奏)	鑑賞	田子 智代 國崎 理嘉	19

(4) 評価と反省

大人を対象としたおはなしと音楽の会を開催した。ベテラン講師による多彩に構成されたプログラムのおはなしと、インドネシアの伝統音楽ガムランの演奏に、参加者の満足度は高く大変好評であった。大人向けのおはなし会はあまりないので、聞いて作品を味わう読書の楽しみ方の一つを提供できた。おはなしと音楽のコラボレーションも相乗効果があった。今後の実施や定期開催を希望する声が多かったので、次年度も実施したい。



絵本の読み聞かせと竹笛のBGM



ガムランの演奏

人 権

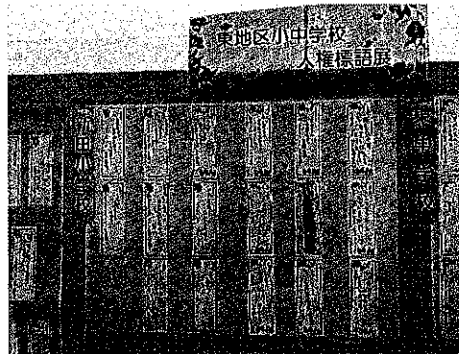
人権教育に係る児童生徒作品を展示

人権週間に合わせて作成された、地区内小中学校5校の生徒による人権標語のうち優秀作品を、館内住民交流スペースに約1か月【令和3年12月22日(水)~令和4年1月21日(金)】展示し、子どもたちの人権教育の学習成果を周知した。

また併せて前橋市手をつなぐ育成会主催の「手をつなぐ作品展」を12月22日~1月10日に開催し、障がい者の方々が作業所で制作した製品などを多くの来館者に見ていただいた。



手をつなぐ作品展と人権標語展を同時に開催



生徒の人権標語を展示

地域ふれあい

東クローバー教室

(1) ねらい

- ①健康で生きがいのある充実した人生の構築・創造を図る。
- ②高齢者と地域社会とのふれあいを深める。
- ③こころ豊かな生活づくり（健康づくり・仲間づくり等）に貢献する。

(2) 対象等

対象：脳トレ冊子の配布は、東公民館窓口へ直接取りに来られた希望者へ年齢、住所等問わず配布。その他の講座はコロナ禍で密を避けるため、60歳以上の東地区在住者限定とした。

周知：公民館報、老人会への回覧、脳トレ冊子はその他フェイスブック、地区の情報サイト「あずまある」、上毛新聞へ掲載

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	5月末より配布開始	番外編「おうちでできる脳トレ」冊子	冊子の配布	インターネットサイト「レプリ」/「介護アンテナ」	2453
2	9/15（水） 10:00～11:30	「健康ウォーキング講座」 （定員40名、申込43名）	紙上講座	前橋市地域おこし協力隊 橋本大介/長寿包括ケア課 北原副主幹	43
3	10/5（火） 10:00～11:30	「認知症予防教室」 （定員40名、申込42名）	紙上講座	群馬医療福祉大学 田村 敦彦教授と社会福祉コース2年生の4名	30
4	10/20より配布開始	番外編「おうちでできる脳トレ」冊子②	冊子の配布	しきしま老人センター/前橋市社会福祉協議会/群馬医療福祉大学生	2499
5	1/12（水） 14:00～15:30	「健康ウォーキング講座」 （定員50名、申込52名）	講義・実技	前橋市地域づくり協力隊 橋本大介	40

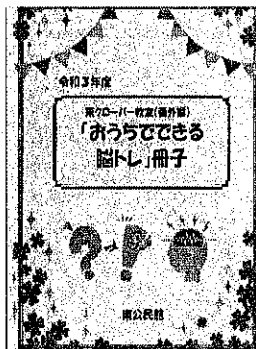
(4) 評価と反省

コロナ禍のため、集客での講座開催に変わる企画として、昨年度は動画配信を行ったが、高齢者はYouTubeが見られない者が多く、DVD化しての貸出もなかなか広まらなかったため、老人会でぬり絵をしたことが好評だったとの話よ

り、ぬり絵や間違い探しなど脳トレになるものを集めて冊子とした「おうちでできる脳トレ」冊子の配布をクローバー教室番外編として行った。こちらは、公民館窓口に来た希望者のみに配布としたが、口コミも広がり2,000冊を超える大好評となった。そのため、第2弾をしきしま老人福祉センターや前橋市社会福祉協議会、群馬医療福祉大学生の協力を得て作成した。(人数欄の数は1/18現在の配布数)

9/15の「健康ウォーキング講座」と10/5の「認知症予防教室」は新型コロナウイルス感染拡大のため集客講座は中止とし、講師の協力を得て自宅で学べる資料を作成し、申込者へ配布する紙上講座に変更し開催した。

1月に開催した「健康ウォーキング」講座は、9月に中止となった講座を開催したもので、指導の後、実際に歩くことで参加者の多くの歩き方が変わるの分かりやすく効果を実感できる講座であった。



脳トレ冊子第1弾と第2弾

1/12 健康ウォーキング講座

(4) 自主学習グループ育成援助

(1) ねらい

- ①各グループの活動について、理解を深め、親睦を図る。
- ②生涯学習を推進し、文化を育てる。
- ③豊かな地域づくりに寄与する。

(2) 対象等

対象：東公民館自主グループ連絡協議会各グループの会員

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容等	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	8/23(月) ～8/31(火) 9:00～17:00	自主グループ作品展	展示	東水彩会・東水墨会 ・東陶芸教室・東レザークラフト教室・ 東カメラ愛好会	中止
2	1/17(月) 14:00～16:00	新春合同研修会 「解明！古代群馬の中心 『推定上野国府跡』」	講演	前橋市教育委員会事務局 文化財保護課 職員	中止

3	2/6(日) ~2/11(金) 9:00~17:00	自主グループ作品展	展示	東水彩会 東カメラ愛好会	中止
---	----------------------------------	-----------	----	-----------------	----

(4) 評価と反省

今までのような文化祭開催が見込めないことから、密を避け発表の場を設けるため、8月に「グループ作品展」として、展示部門に参加していたグループの作品展示を計画した。が、新型コロナウイルス感染症拡大により中止となった。その後延期開催を探り、2月に東地区地域づくり協議会主催の「ふるさとあずま作品展」と同時開催することになったが、まん延防止等重点措置適用により中止となった。部屋利用の休止が度々あり、活動ができず作品ができない、あるいはイベントの実施を不安視するグループもあり、参加希望グループは少なかった。一方で、状況に関わらず非常に意欲的なグループもあった。来年度工夫して実施したい。

年間計画では、7月に「サークル見学・体験月間」や11月に「舞台発表会」も予定していたが、コロナ禍で中止となった。

新春合同研修会は、利根川以西の郷土の歴史を学ぼうと、前橋市の出前講座を利用し「上野国府跡」の講演会を行う予定だった。が、コロナ感染者急増により開催直前に急遽中止となった。減免申請の説明会のみ行った。

参考：自主グループ連絡協議会行事

回	月 日	内 容	参加者等
1	5/14 (金) 締切	書面総会	39 団体 提出
2	5/24 (月)	代表者会議 (分散開催)	40 団体
3	11/13 (土) 11/14 (日)	東公民館文化祭	中止
4	12/20 (月)	東公民館大掃除	48 人
5	1/1 (土)	連協だより「なかま」31号発行	中止
6	1/17 (月)	新春合同研修会 減免説明会のみ実施 講演会 (中止)	38 人

自主連協加盟グループの紹介掲示板を更新した。各グループに活動内容や写真を掲載したものを新しく作成してもらい、既存のものと交換した。

年度当初に、グループの代表者または代理等各グループ1～2名ずつメールアドレスの登録を行った。部屋利用の休止や再開、急な変更のお知らせなど有効に活用している。

(5) 生涯学習奨励員活動支援

共催事業「チャレンジウォーキングあずま 2021」

(1) ねらい

- ① コロナ禍でも3密を避け開催できるウォークラリーイベントを東地区内で地区住民に向けて開催する。
- ② コース周辺の史跡等を「資料編」としてまとめ、東地区の歴史を住民に知ってもらおう。
- ③ コースにちなんだクイズを設け、解答者には抽選で記念品が当たる（なるべく多くの方が当たるよう配慮予定）ため、多くの方が楽しんで参加してくれることを目指す。

(2) 対象等

対象：東地区在住者

周知方法：公民館報、回覧、チラシ、公民館内での紹介動画放映

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	11/15（月）～ 12/28（火）	「チャレンジウォーキング あずま2021」	ウォーク ラリー	東地区社会福祉協議 会/地域包括支援セ ンター東/前橋市社 会福祉協議会	283

(4) 評価と反省

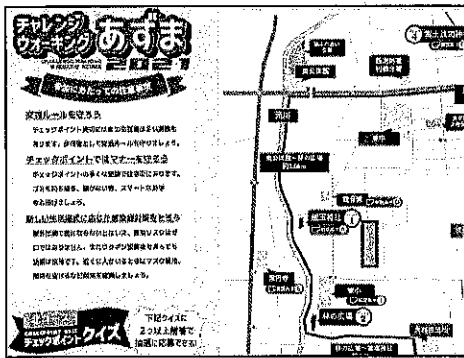
東地区社会福祉協議会と共催でコロナ禍でもできるイベントを開催したもの。東地区生涯学習奨励員連絡協議会の中川会長に地区内の神社・史跡の解説原稿を作成いただき、それをもとに東地区及び市社会福祉協議会にてコースの検討、地図や資料編のデザイン、記念品のオリジナルタオル作成などを行った。安全で分かりやすく、高齢者でも歩ける距離のコースなど選定や修正・確認が必要なことがとても多く、夏に企画したが開催は11月半ばとなった。

期間内に地区内のチェックポイントを巡り、ポイントに行けば分かるクイズに答えると、抽選で記念品が当たるとの内容であったが、内容が伝わりづらかったのかクイズ解答者が増えなかったため、イベント開始後に紹介VTRを動画で作成し、公民館内モニターで放映したところ、証明請求に来た方など含めた多くの来館者に参加してもらうことができた。

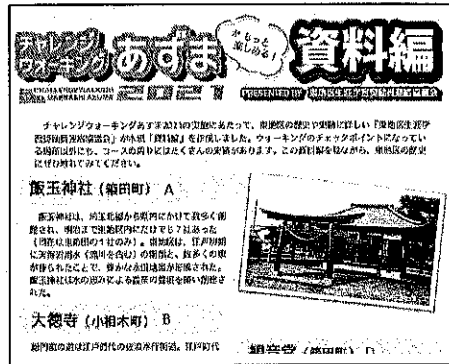
終了後のアンケートでは「大変良かった。また、楽しかった」「記念品でウォーキングのモチベーションがあがった」「関心がなかった地区のことを知るき

かけになり良かった」「また開催して欲しい」など参加者の99%がまた参加したいとの結果であった。

よって、第2弾の開催なども関係団体とともに検討していきたい。



北コースと南コースに各4間のクイズ



資料編では地図上の10ヶ所を紹介



館内で放映した紹介動画。館長と市社協・包括東の担当出演。



公民館を出発する参加者

地域かるたを基に歴史を学ぶ講演会

(1) ねらい

- ①生涯学習奨励員等が、地域や町内などで生涯学習を推進していくための基本的な知識や学習情報を知る機会とする。
- ②地域における学習課題を考え合い生涯学習推進を図るための一助とする。

(2) 対象等

対象：東地区生涯学習奨励員と東地区地域づくり協議会、東地区在住・在勤・在学の方

(3) 内容 (★はZ o o m活用)

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1 ★	11/19 (金) 10:00~11:30	「あずまカルタをよむ ~Part2~」	講義	東地区生涯学習 奨励員連絡協議会 会長 中川 春雄	29

(4) 評価と反省

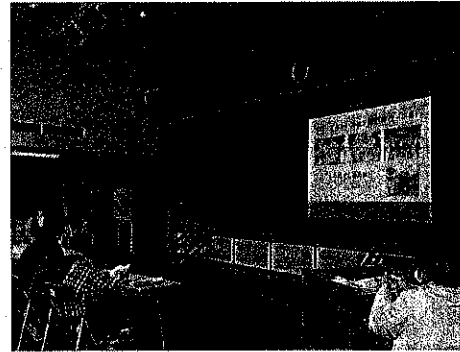
令和2年度に開催した「あずまカルタをよむ~知らなかった東の歴史~」が好評で、続く第2弾として開催した。前回同様、講師・中川氏の豊富な知識と経験、研究から得た資料を基に東地区の歴史を語られた。今回はカルタの読み札ではな

く、産業・交通、神社、学校の大きく3分野について話された。

今回の講座は新型コロナ対策としてZ o o mでの参加者もいた。内容としては、講師の途切れることの無いなめらかで且つ聞きやすい語り口が圧巻で、参加者は十分に納得のいく講座と感じていると思われる。ただ、アンケート結果から、専門的な言葉もあり、少し難しかったとの回答もあった。今回も時間が足らず、15分程オーバーし、最後は駆け足での説明となってしまった。テーマを絞り込んでの再々開催を望んでいる声もあった。是非とも検討したいと思う。



会場の様子



講座の様子

(6) 地域づくり推進事業の協力援助

(1) ねらい

地域文化の特色を思い、醸成された「共助」の良さを進め、和やかで心豊かな地域性を持続していくことを目的とする。

(2) 概要

東地区では、平成20年度に地域づくり協議会が設置され、地域づくり推進事業を行っている。現在は、福祉部会・文化部会・安全安心対策部会・公園愛護部会の4部会が設置されている。

(3) 事業内容

本年度当初からの新型コロナウイルス感染拡大に伴い、その予防の観点から大人数が集う協議会事業の殆どが中止または延期のやむなきに至った。

部会ごとの状況は概ね以下のとおりである。

① 福祉部会

子育てサロン部門では、少子化・核家族化による育児ストレスの解消を図り、地域全体で子どもを育てる取り組みのひとつとして「あずま子育てひろば」を、毎月第四木曜日に東公民館視聴覚室で開催すべく準備したが、本年度は昨年度に引き続き、日時や会場並びに実施方法を変更して開催した。

この子育てサロンは、子育て世代の親子が気軽に集まれる「居場所」として定着し、根強い人気もあるので、次年度以降も引き続き新型コロナウイルス感染予防に工夫・配慮しながら開催に向けての取り組みを行っていききたい。

② 文化部会

毎年秋の「ふれあいウオーキング」に伴う「あずまかるたクイズ」や、公民館文化祭の中で「あずまかるた大会」を催し、かるたの普及活動を行う予定であったが、いずれも雨天やコロナ禍に伴う文化祭取り止めにより開催中止となった。今年度は、「あずまかるた」の普及啓発のため、群馬大学総合情報メディアセンター中央図書館のホームページ「郷土かるたコレクション」に情報提供し掲載してもらい、地区内のみならず広く周知を行うことができた。

また、7月1日に開設100周年を迎えた新前橋駅の開設記念事業として、公民館事業と共催で記念ポストカードを作成し希望者に配付した。

さらには、地区内で美術等の自己研鑽に努めている人の発表の場として、2月6日から11日まで「第5回ふるさとあずま作品展」を計画し、募集を開始したが、新型コロナウイルスの感染拡大が続いたため、やむなく中止となった。

③ 安全安心対策部会

東地区内の6土木業者と災害時における防災活動協力に関する協定を締結している。特に大雪（平成26年級）の時は地区内にある小学校の周りを中心に除雪を行う予定である。

また、東地区では毎年のように大雨による床下・床上浸水や道路冠水等の水害が発生するため、安全安心対策部会では東地区自治会連合会と協調し、12月20日には前橋市長を訪れ、滝川の環境整備や地区内側溝整備等に関する要望行動を行った。

冬には防災研修事業として、1月23日に東地区では初めてとなる避難所開設訓練を実施予定であったが感染拡大状況に伴い延期となった。

④ 公園愛護部会

公園愛護部会は、東公民館に隣接して完成した東ふれあい公園を東地区全体で管理するために新設した。実際に活動を行うため、地区内全自治会や各種団体が東ふれあい公園愛護会を設立し、6月から11月の間、当番制で公園の草刈り等の活動を行った。

(7) 情報提供事業

(1) 公民館だより「あずま」の発行

①住民参加による館報編集委員8名の編集委員会を月2回開催し、館報裏面を作成している。

②館報は毎月1日発行。地域の人口増加に伴い毎戸配布（14,900部×12カ月）も年々増えている。

③表面は、公民館主催事業、地区内行事、各種団体行事、市事業案内などを掲

載し、裏面は、編集委員の取材記事などを掲載する。

今年度は、コロナ禍で地区のイベント紹介ができなかったため、「上毛新聞から見る100年前に流行したスペイン風邪」、「新前橋駅誕生物語」「100年前に開かれた浅間牧場」「東の神社、旧暦の時代 神仏はなくてはならない存在」「江田村に伝わる昔話」など館報編集委員執筆による地域に根差した記事を多く掲載した。

また、9月号は敬老の日にあわせ地区内の元気な高齢者へのインタビュー記事を、1月号では地区の新成人からの抱負なども掲載し、地区内の情報を住民が興味を持つよう発信している。

(2) ホームページ・フェイスブックを活用した情報提供の充実

前橋市ホームページ内に東公民館のページを展開。施設概要の他、公民館主催事業、地区行事、市民サービスセンター業務などを掲載。

また、前橋市フェイスブックにおいても、主催事業や地区行事などの地域情報を適時紹介している。

(8) 各種団体事業の協力援助

月 日	行 事 名	会 場	参加者数
4月17日(土)	育成指導者初級講習会(子育連) 中止	東公民館	—
5月16日(日)	第36回東地区のびゆくこどものつどい並びに第23回ふれあいの広場 中止	東ふれあい公園・公民館	—
5月23日(日)	第54回男子ソフトボール大会 (自治会連合会・体育協会) 中止	箱田中・新田小・大根根緑地	—
5月29日(土)	スポーツ少年団体験教室(中止)	東小,新田小	—
6月7日(月)～ 6月11日(金)	第1回ソフトバレーボール大会 予選 (自治会連合会・体育協会) 中止	東中	—
6月12日(土)	第29回スマイルボウリング大会 (子育連) 中止	新田小	—
6月20日(日)	第1回ソフトバレーボール大会 本選 (自治会連合会・体育協会) 中止	東中	—
6月20日(日)	第54回女子バレーボール大会 (自治会連合会・体育協会) 中止	東中・箱田中	—
6月22日(火)	グラウンドゴルフ大会 (老人クラブ連合会) 中止	東ふれあい公園	—
7月10日(土)	インリーダー講習会(子育連) 中止	古市町滝川公園	—

8月21日(土)	東地区青少年健全育成会 地区別会議 中止	東公民館	—
10月3日(日)	第61回東地区市民運動会 中止	箱田中	—
10月16日(土)	ふれあいウォーキング(主催:青少年健全育成会・子育連、共催:地域づくり協議会文化部会) 中止	東地区内	—
10月17日(日)	第17回グラウンドゴルフ大会 (自治会連合会・体育協会) 中止	箱田中	—
10月24日(日)	第50回卓球大会 予選 (自治会連合会・体育協会) 中止	東中	—
11月1日(月) ~12月12日(日)	ファミリーウォーキング(子育連)	東地区内	170世帯
11月8日(月) ~11月14日(日)	AZUMA展(子育連書画展)	東公民館	94作品
11月23日(月) ~11月27日(金)	書画展入賞作品展示(子育連) 中止	東公民館	—
11月22日(月)	芸能発表会(老人クラブ連合会) 中止	東公民館	—
11月28日(日)	第50回卓球大会 本選 (自治会連合会・体育協会) 中止	東中	—
11月28日(日)	歩け歩け大会(体育協会) 中止	東地区周辺	—
12月11日(土)	親子手作り教室(しめ縄) (青少年健全育成会・子育連) 中止	東公民館	—
12月19日(日)	第47回上毛かるた大会(子育連) 中止	大利根小・東小	—
3月5日(土)	体育行事反省会(体育協会) 中止	東公民館	—

(9) 地元教育機関との地域連携事業の取り組み

東地区の教育機関である群馬医療福祉大学と前橋市は、教育研究や人材育成、地域防災など双方の有する資源を有効に活用し、様々な分野で連携協力していくため協定(包括連携協定)を締結している。

群馬医療福祉大学では、地域貢献活動・ボランティア活動からより学びに重点を置いた「サービスマーケティング」という学習に取り組んでいる。

今年度は、この授業の中で学生が自ら企画した地域活動やボランティア活動を

実践するにあたり、一部学生グループの実施企画に協力した。

上記に記載の「東地区えがおプロジェクト」「脳トレ冊子」の作成への協力などが該当する。公民館講座の開催として企画した学生グループもあったが、感染状況により講座が中止となってしまったものもあった。

他にも、公民館主催事業(講座)のサポート役として学生に対応をお願いした。

今後も引き続き、公民館主催事業だけでなく、地域行事などでも連携していきたい。